

## 兵庫区会

無理のない程度で活動

兵庫区会長 (生7) 大掛 敏夫

新年度になり、兵庫区会をご存知でない人も居られるので、自己紹介させていただきます。

兵庫区会は、わの会員の組織ですが、兵庫区の花のパンジーの名をとって、1期生が発足させた兵庫パンジーの会が別にあります。わの会員でパンジーの会に入会していない人もありますし、又パンジーの会員でわに入会していない人もありますが、大半の人が両方に入会しています。好きな処で楽しく交わり、無理の無い程度でボランティアをして、各自の健康に繋がることも、また、それが健康その他の理由で無理な人には、親睦の時に一緒に楽しもうというのが実態です。

今年度の活動他、6月までの活動は、市の安心センターからの生活支援と、サポーターを始め、区のボランティアセンターからの依頼が結構多く、区内の老人施設への傾聴ボラ・精神障害者施設での手芸ボラ・知的障害者施設での調理ボラ・デイサービスでのお花見車椅子介助とお菓子作りボラ・又震災後続けて来た安否確認のためのお元気コールの電話サービスと、友愛訪問も週1回の割合で活動・又新しく神大病院でのお絞りタオルを折る作業も始まり、種々各自で可能な活動をしている。勿論わからの明生園での音楽遊びほか、施設での折紙指導や、唱歌指導も継続して活動中です。

親睦の会としては、4月2日の定例会の後、会下山にてお花見の会(20名参加)にて親睦を深めました。例年4月は総会ですが今年は資料作成の関係で5月に行いました。

毎月1回(今年は第1木曜日に)区役所の地下の会議室にて定例会を行っていますので、未だパンジーの会を知らない人も覗いてみてください。

(8月は休みです。)今後の予定は、秋に親睦会を1



回・新年会と、ボランティアも継続と、区からの依頼・わからの依頼・他出来ることを無理をせずに受けていく予定です。今年もよろしく申し上げます。

[前のページへ](#)

## 長田区会

生活支援員

長田区会 (美8) 松本 治司

少子高齢化時代に入り、65歳以上の高齢者は約2,800余万人で、日本人口の5人に1人は高齢者と言われています。即ちその殆どは年金生活者ということになりますが、その受給者全員が必ずしも健康者ばかりとは限りません。身体障害者・知的障害者など日常生活において地域社会の支援が無ければ生活が出来ない年金受給者は大勢居られます、そんな高齢者をサポートするのは生活支援員です。

平成11年10月に厚生労働省所管の補助事業として全国の社会福祉協議会において「福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)」が発足しました。神戸市においても「神戸市社会福祉協議会こうべ安心サポートセンター」として事業を開始して、神戸市全域で支援活動を行っていますが私達グループ“わ”の会員もこの支援員として活動を続けています。

生活支援員の任務は、日常生活自立支援事業法に基づき「判断能力が不十分などの理由で、日常生活上支障のある高齢者、障害者等の日常的な金銭管理や重要な書類の保管などの財産管理を支援する事にあります。しかし、現在私達が行っている支援事業は年金を所定日に自宅又は介護施設へ届ける仕事为主となっています。私は現在3名の高齢者を支援しています。男性1名(82才)女性2名(86才と76才)です。こうべ安心サポートセンターで現金を預かり支援者に届けます。毎回自己紹介をしないと私の顔は覚えて貰えないのが残念ですが、支援する日には「介護予防支援者」も同行しますので安心して活動が出来ます。おじいちゃん、おばあちゃんの昔話を繰り返し聞くのも仕事の一つですが、遠くで暮らす子供達の事を涙で話すときは、記憶も明確になり、私達もジーンとさせられます。この生活支援員の養成は毎年実施されていますが、カリキュラムは5日間で13項目を受講します、研修が終われば修了証書と一緒に「生活支援員証」を交付してくれます。是非皆さんも一緒に活動しましょう。

[次のページへ](#)